

平成28年1月13日(水)に開催した第5回公立大学法人静岡文化芸術大学経営審議会の結果は次のとおりである。

## 1 議案

### 次期中期計画(案)について

#### (1) 趣旨

平成27年12月に、設置団体である静岡県から、静岡県が作成する次期中期目標が正式に法人に対して指示された。この中期目標及び前回会議での審議を踏まえて作成した次期中期計画(案)について、教育内容の充実による少子化時代への対応、グローバル化に対応した教育の強化、キャリア教育の推進などの主な内容が、説明された。

#### (2) 主な意見

- ・これを作成するに当たり、現中期計画期間ではどのような課題があり、それをどのように次期中期計画(案)に反映したのか確認したい。
- ・現中期計画期間で対応が不足したと考えられる、地域社会の中でのグローバル教育の推進それによるグローバル人材の育成及び地域貢献、キャリア教育における卒業生との連携強化、本学の2学部の特徴を融合した形での研究の推進などの内容を盛込んだ。
- ・現在の大学の教育には総合性、多様性が求められている。主と副、専門知識と幅広い教養を合わせた中で大局観が養われるため、「主専攻」と「副専攻」の考え方は重要である。
- ・施設利用の利便性の向上など、学生からの要望もできる限り計画に取り入れてもらいた
- ・「グローバル化」は全国の大学で取り組んでいる課題であるが、本学では、ぜひ日本の良さを認めた中での取り組みであってほしい。

#### (3) 審議結果

議長が議案の賛否を諮り、議決された。

## 2 報告事項

### 大学ブランド・イメージ調査2015-2016結果について

事務局から、日本経済新聞系列の調査会社による総合大学(芸大や単科大学等除く)を対象とした「大学ブランド・イメージ調査」について、本学はこれまで芸大として認識されており調査対象外であったが、芸大ではないことを理解してもらった上で、今年度から調査対象となったこと、今後、継続して実施されることが報告された。また、今回の調査では、本学の属する東海・北陸エリアにおいて42位(64校中)であったこと、静岡県外での認知度がまだ高くないという結果が示されたことから、今後、この結果を踏まえ、広報の充実を図ることが必要であることが報告された。

以上により議事を終了